

新人弓道基礎講習会

～競技上のルールについて～

群馬県高体連弓道専門部

弓道の大会でのルール

- 大会要項
- 弓道競技申し合わせ事項について
(全国高体連弓道専門部)
- 全国高等学校体育連盟弓道競技規則

ルール違反

- 審判から注意をうける
- 場合によっては失格
- 同じチームにも迷惑
- 他のチームに迷惑

大会要項

● プログラムに掲載されているので必ず読む

平成28年度 県高等学校弓道春季大会 要項

- 1 主催 群馬県高等学校体育連盟弓道競技専門部
- 2 開催日 平成28年4月23日(土) 男子団体予選決勝・男子個人予選決勝
平成28年4月24日(日) 女子団体予選決勝・女子個人予選決勝
- 3 日程 受付(選手1名+顧問) 8:20~8:40・監督会議 8:40~・開会式 9:00~
*係職員と当番校は8時に集合し準備にあたる。*当番の仕事内容は、プログラム内のマニュアル等を参照すること。
- 4 会場 ヤマト市民体育館前橋弓道場(遠・柔) 前橋市上佐鳥町460番地7 電話027-265-0900
- 5 競技種目 近的競技 的中制 直径36cm霰的
- 6 競技種別 男子の部・女子の部
- 7 競技種類 団体戦…男女とも各校2チーム以内 (正選手3・補欠1・補欠戦あり)
個人戦…男女とも制限なし(団体出場選手は団体戦の的中を個人戦の的中とする)
- 8 競技規定 全国高等学校体育連盟弓道競技規則・全国高等学校弓道大会競技運営細則による。
- 9 競技方法 3人立 立射 4射場
団体戦 予選…1チーム12射(各自4射)を行い、女子4中以上男子5中以上が決勝に進出する。
団体戦 決勝…1チーム12射(各自4射)を行い、予選との合計的の中により順位を決定する。
→選手の交代は2回認める。第3控えに入るまでに所定の用紙に記入し、監督が本部に届け出ること。
個人戦 予選…各自4射を行い、2中以上を通過とする。
個人戦 決勝…各自4射を行い、予選との合計的の中で順位を決定する。
*団体不通過でも予選で2中以上した者は個人戦の対象とする。
*予選で2中以上してないものは団体戦決勝で4射引いたとしても個人順位決定の対象にはならない。
*優勝決定のみ射詰めとする。それ以外は遠近(多人数の場合は複数の使用)で順位を決定。

弓道競技申し合わせ事項

- 2. 選手の服装等について
- 4. 応援について
- 5. 第3控・第2控・入退場
における選手・監督の心得

2. 選手の服装等について

- 腕などへの書き込み

- 「弓手押す」「大三しっかり」など

- 弓道衣の袖

- **まくる 折り曲げる 禁止**

- 髪

- **髪が肩にかかる場合は結ぶ**

- **髪が右ほほにかかる場合は耳にかける**

- **ヘアピン利用→華美でない・最低限の数量**

4. 応援について

- 相手チームに迷惑となる応援
 - よ—————し
- 相手を侮辱する応援
 - **×なのによし**
 - 保護者にも伝えておく
- フラッシュ撮影禁止
 - 必ず保護者にも伝えておく

5. 第3控・第2控・入退場における選手・監督の心得

● 第3控・第2控

- 静かな環境づくり

- 不必要な**発声・深呼吸・立ち歩き**・大きな声で挨拶・返事は禁止

● 入場

- チームへの**かけ声**は禁止

● 退場

- 退場口付近で対戦相手へのあいさつは禁止

● 足袋濡らし

全国高体連

弓道競技規則

- 第 4 条 競技
- 第 7 条 競技時間
- 第 13 条 弓具
- 第 14 条 服装
- 第 15 条 ゼッケン
- 第 17 条 応援
- 第 18 条 禁止事項
- 第 19 条 無効

第4条 競技

- ~~2射・4射を行射するときは取り矢をする~~
- 射場入場後に弓具に不都合が生じた場合は交換できる。
 - 「矢の筈に砂が詰まっている」は不可
- 持ち矢を棄権することができる
 - 棄権する場合は矢を自分の右前に出す

第7条 競技時間

- 5人立

- 坐射－ 7分30秒予鈴・ 8分本鈴

- 立射－ 6分30秒予鈴・ 7分本鈴

- 3人立

- 坐射－ 6分30秒予鈴・ 7分本鈴

- 立射－ **5分30秒**予鈴・ **6分**本鈴

- 自団体の事故→**時間延長**なし

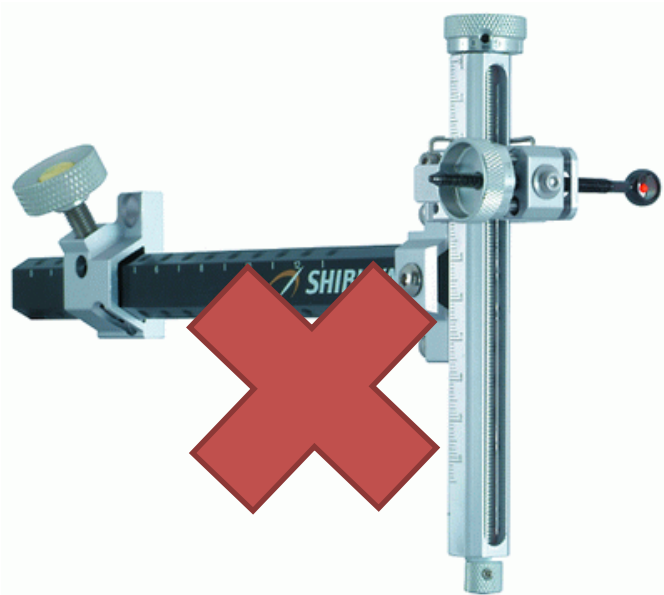
- 個人や競射→時間制限なし

(原則・**弦音打起し**)

第13条 弓具

- 矢摺籐

- **照準装置・作為的な目印** をつけてはいけない
- 長さは **6センチ** 以上



6センチ以上



6センチ以上

第13条 弓具

●矢

- 長さ→引き込まない
- 太さ→**6ミリ**以上
- 羽→長さ**13センチ～15センチ**
高さ**5ミリ**以上
- 本矧・末矧・筈巻がある

本矧（もとはぎ）

末矧（うらはぎ）

筈巻（はずまき）



第13条 弓具

- 矢

- 筈→埋込式を使う・**蛍光発光**は禁止



第13条 弓具

- 矢
- 矢尻→**かぶせ式を使う**



第13条 弓具

- 矢

- 箆→印はつけてはいけない



第13条 弓具

● 蹠

- **三つ蹠、四つ蹠**あるいは**諸蹠**のいずれかを
使用する
- 控、帽子、弦枕がある
- 材質は鹿革とする



第13条 弓具

- 補助具



- **伝統的な押手補助具のみ使用可能**

→伝統的な押手補助具は、

押手彘（拇指、人差指の2本指と拇指のみの1本指）がある



第13条 弓具

- 包帯・テーピング・キネシオテープ
 - 最低限の使用
 - 手首固定の使用は事前申請が必要
- サポーター
 - 手首は不可
 - 色→白・黒・紺・ベージュのみ

第13条 弓具

- 紐は小さく結ぶ



第13条 弓具

- 弾止め
- 使用禁止



第14条 服装

- 弓道衣・袴・足袋
 - 弓道衣・袴・足袋
 - 単色無地・色は各校で統一
- 県内大会のみ
 - 学校指定の体操着
 - 制服
 - 白靴下
 - ゴム底足袋は使用禁止



第14条 服装

- アンダー

- **単色・無地**

- 丸首・Vネックのみ

- 色は**白・黒・紺**...これ以外は各校で統一

柄→無地でない学校Tシャツはダメ

形→**襟付き・ハイネック**はダメ

色→各校で統一していないグレーはダメ



第14条 服装

- 校名・校章・氏名
 - 弓道衣—**片袖**のみ
 - 国**スポ**の参考は**右袖**
 - 縦横 **10** センチ以内
 - 袴—**右腰後**
- はちまき
 - **無地**・長さは**肩**まで
 - 校名・校章・氏名・番号のみ可（端のみ）

第14条 服装

● 胸当

- **無地** 校名・校章・その他入れない
→書くときは**裏面**に書く

- 男子は使用禁止

→道衣の下につけるのは禁止しない

● 装飾類

- **リボン・ピアス・ミサンガ・ネックレス**など装身具類は禁止

→髷や足袋、道衣で見えなかった
としてもダメ

第14条 服装

- 監督の服装

- 上着（ジャケット）の着用

- 半袖ポロシャツ等も可

- 短パン・ミニスカートの類は着用しない

- 素足の入場禁止

- ストッキング素足と考えソックスを履く

第15条 ゼッケン

- 大きさ

- 横 **18** センチ 縦 **12** センチ

- 材質

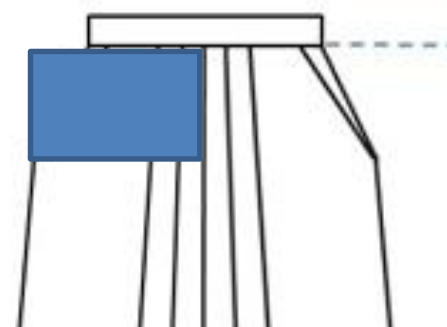
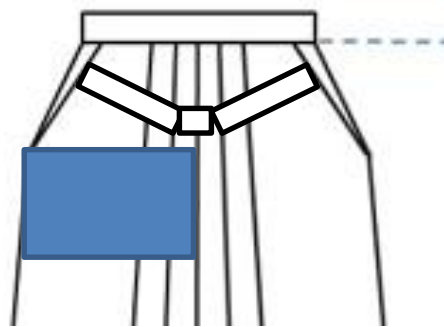
- 白の**布**

- 交代

- 選手交代でゼッケンは**替えない**

第15条 ゼッケン

- しっかり管理
 - 大会途中になくなった事も
- ゼッケンがない場合
 - 出場できない
 - 早めに相談
- 付ける位置
 - **右腰前**



第17条 応援

- **矢声と拍手のみ**
 - 手拍子は駄目
- **射技上の指示は禁止**
 - 矢所の指示
 - 狙いの指示
 - 口割りの指示
 - 引尺の指示

第18条 禁止事項

- 弓具の共有
 - 同一の立はダメ
 - 競射で同じ立の時は1名のみ引ける
- 弓・矢の照準・目印
- 入場時・射場内での**発声**
- 射場内での**指示**
 - 指示ををうける
 - 指示を求める

第19条 無効

- 無効＝その矢のみ「はずれ」
- **矢番え完了後**の弦から筈が外れた矢
 - 矢番え完了後とは？
- 打起し後の引き直し
 - びくりは？
- 追い越し発射
 - **追い越した矢**が無効
- 時間切れ
 - 本鈴と同時発射も**無効**

その他（弓道場の使用）

- 玄関に下足を置いたままにしない
- ぐんま武道館下駄箱使用禁止 （練習試合・個人利用は除く）
→ビニール袋を準備する
- 食事は控え室で行う
- 控室や応援席での
ゲーム・トランプは禁止
- 応援は譲り合って
- 競技中は静かにする
- トイレのスリッパは揃える
- ゴミは持ち帰る
- 矢取用のスリッパ使用後は下駄箱に戻す

終わりに

- 知らなかったはもう通らない
- 決められたことはしっかり守る
- 周りに迷惑をかけない
- 円滑に大会が進む

自分自身が弓を引くことに
集中できる環境になっていく